

様式 2

入札閲覧設計書に関する質問回答書	
工 事 名 業 務 名	6 災 3355 号 市道土居原下牧線 道路災害復旧工事
開 札 予 定 日	令和 7 年 11 月 7 日 (金)
提 出 年 月 日	令和 7 年 10 月 27 日 (月)
質 問 事 項	回 答
1. L型側溝工及び防護柵工について 設計図書では、L型側溝ブロック、植樹帯ブロック及び防護柵、基礎ブロックが再利用と記載されていますが、これらの製品は別途工事において既に処分されています。現場での施工に際しては、不足分の製品を新設に手配する必要があると思われるますが、その際に要する費用は追加計上となるか、ご教示願います。 2. L型側溝工について 街渠柵の据付・撤去については、現状、雨水柵やそれに接続されている陶管の破損個所が見られます。また、柵据付位置の変更により既設陶管との接続は不可能になる事が想定されます。その際に発生する雨水柵及び配管材料や施工費等は追加計上の扱いとなるのか、ご確認をお願い致します。 3. 消融雪設備工 消融雪設備工では、配管工のコーナブロックが2個計上されていますが、ブロック間の送水部分が計上されていません。現場での施工においては、当該部分が現場打ちになるか、または二次製品を使用した施工が想定されます。つきましては、その際に必要となるカップリング金具類等の材料費及び施工費については、追加計上の対象となるのかご教示願います。	損傷等により、別途工事によって処分されている不足分に関しては、協議したい。 街渠柵に破損が確認できた場合は、協議の中で検討したい。 他の災害事業も実施されており、その事業の中で対応できない案件については、協議の中で検討したい。 マンホールの迂回部は、他の災害事業と調整を図りながら、必要となる材料費等については、協議の中で検討したい。